

2014 研修分科会

私立大学図書館協会東地区部会研究部

第5回

開催: 2014年11月13日(木)

時間: 13時~17時

会場: 立教大学 (池袋キャンパス) 12号館B1F 第1・第2会議室

テーマ: 機関リポジトリ

講演: 阿部潤也氏 (東京歯科大学図書館・DRF平成25年度企画ワーキング副査)

課題: 研修分科会中間発表

・ 11月5日までに、中間発表プレゼン資料 (パワーポイント等) をメーリングリストに添付して提出してください。

・ ファイル名は「第5回課題_IAAL大高野」のように後ろに大学名(略称)とお名前をつけてください。

研究会(交流会): 11月14(金)

14:30-17:30 (研修分科会の発表は17:05-17:15) 発表者の根本さん、鬼沢さんをみんなで応援に行きましょう。申込みは各機関から10/17迄。

今後の予定: 第6回12/11のテーマは「利用者と資料を繋ぐ目録RDA」です。いよいよ最終回ですので、終了後に忘年会を企画しましょう。

機関リポジトリを知る

機関リポジトリという言葉は聞いた事がある方が多いと思いますが、なぜ大学図書館の業務として行なわれるようになったのかご存知でしょうか。研修分科会では、2011年から必ず毎年このテーマを取りあげてきました。「機関リポジトリ」について、その成り立ちや意義、概要を知るとは、現代の大学図書館の役割・機能とは何かを考える上で欠かせないテーマだからです。今年もDRF等でご活躍の阿部潤也氏にご講演をお願いしました。

NIIの学術機関リポジトリ構築連携支援事業のサイトには「機関リポジトリとは、大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。」と書かれています (<http://www.nii.ac.jp/irp/> [2014.10.10アクセス])。多くの図書館でリポジトリへの取り組みが始まっていますが、皆さんの図書館ではいかがでしょう。大学図書館の機能を、研究・教育に必要な学術情報を提供する事と捉え、オー

ブンアクセスの動きの中のひとつの方法として「機関リポジトリ」を知ると、大学図書館は学術情報流通の根幹を担っているという使命が見えてきます。その様な視点で私たちの仕事を考えてみる機会にしたいと思います。

また、今回会場をご提供くださる立教大学池袋図書館は「第30回日本図書館協会建築賞」を受賞された素晴らしい図書館です。研修分科会のプログラムとして見学をさせていただきます。

会場案内

立教大学 池袋キャンパス 12号館 B1階 第一・第二会議室

池袋駅西口から徒歩約7分 (建物にはタッカー門横の12号館入口から入り、案内に従って地下1階会議室へ。)

詳しくは <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/direction/>

キャンパスマップ <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>



Time Table

第5回

13:00-14:00 研修分科会中間発表

14:00-14:15 ティーブレイク

14:15-16:00 講演: 機関リポジトリを知る(阿部潤也氏), 質疑応答

16:00-16:10 事務連絡

16:10-17:00 立教大学図書館見学